

県内主要産業の景況動向

業 種	5月	6月	先行き
金属洋食器	●	●	→
金属ハウスイア	●	●	→
作業工具	○	○	→
電子部品・デバイス	○	○	→
鋳 物	○	○	→
金 型	○	○	→
一般機械	○	○	→
絹 織 物	●	●	→
合 織 織 物	●	●	→
ニ ッ ト	●	●	→
木工家具	●	●	→
清 酒	●	●	→
米 菓	○	○	→
建 設	○	○	→
小売店(大型店)	○	○	→

◎順調 ○まずまず ●やや低調 ●不調

回復の動き足踏み感

ホクギン研6・7月動向 生産に弱さ

ホクギン経済研究所(長見られる)

【大型小売店】6月の県経済動向によると、生産に弱さが見られ、回復の動きに足踏み感が見られる。先行きは「米中摩擦など海外経済の動向が生産面を中心に県内経済に及ぼす影響を注視する必要がある」とした。

【建設】公共工事は本年度予算の執行を受けて持ち直し基調。発注者別では国・市町村で伸びが見られる。民間工事は底堅く推移しているが、これまで堅調だった製造業では一服感も

【金型】受注は横ばいで推移している。自動車関連では車載器が軟調であるものの、車体部門は試作・見積先からの引き合いが堅調。建築金物では、防災・減災需要で耐震補強金具が

好調だ。

【一般機械】外需は、中国向けは前月並みで一段の悪化はないが、米国向け航空機・宇宙関連に様子見の

姿勢が見られる。内需も省人化・効率化投資は続くが、先送りも増えており慎重姿勢となっている。

【米菓】6月はあられ・

おかき類が振るわなかった一方、せんべい類が底堅く、売り上げは前年並みとなった。中元シーズンで進物類が堅調に推移した。